



八期オンライン日記第79号(11月号) 2023年11月1~11月30日



超人的、人格者、丁寧な言葉、穏やかな顔と立ち居振る舞い

才能があって、努力の人だそうです。

11月10日発売予定の文藝春秋12月号掲載。

藤井八冠は人間っぽくない PDF を貼付します。

○西山さん 11月7日 pm4:00



色々な分野に興味を持っておられるようで、この記事 コピー取り、興味深く読みました。

たまたま、10月11日の王座戦第4局を AMEBA で最終局面見ておりました。

一分勝負となれば、ほぼ、99%の勝機であっても、差し違えがあるのだなあ・・・と思いました。

藤井七冠棋士は 自分の負けを感じ取って最終投了の形を考えていたような状況の中で、永瀬棋士 刺し違えたことがわかり、頭を掻き始めたところが印象的でした。

この指し手がなければ、藤井八冠制覇は？という展開になっていたかも・・・感じました。

永瀬棋士とは 10才も年下で、10年近く、研究将棋を指してこられた、お互いに手の内がわかり合っている、いざ、勝負となれば・・・たいへんだなあ・・・と思った次第です。

この文芸春秋 永瀬拓矢棋士・9段 12月号の記事を読み、王座戦、藤井聡太八冠の人柄などよくわかりました。

高校中退し、将棋界に入ったころから、記事をよく見ていました。

有難うございました。

11月7日 pm5:00

○藤井さんは、難しい局面では、普通に考えて最善手を指さないのだそうです。



3番目くらいによいと思われる手を指すのだそうです。

それに相手が惑わされて、とんでもない手を指させられてしまうようです。

問題は、何時、そのような手を指すのかが分からないことでしょうか？

藤井さんの将棋はプロの多くの人にも分からないと、永瀬さんは言っています。

近頃、テレビに登場する専門家と称する人たちにも、本当は分かっていない人が多いようです。

○八期オンライン日記第78号(10月号)送ります。10月31日 pm3:00 大石

○大石さん 今月もありがとうございます。Pm5:00 アンサー



今月は、安倍さんの華麗な旅、大石さんの古き良き東北の旅、

本田さんの闘病者の旅などレポートがハイライトでした。

東北は50年以上前、高速道路がない時代にセールスで駆け巡りました。

大石さんが訪れた東北は新しい時代のものでした。

本田さんが訪れた信州もやはり50年前にセールスで訪れその後、妻のお供で訪れました。

河童橋は芥川龍之介の「河童」でどの辺にいたのだらうと想像しました。

安倍さんのウィーン、本当に海外旅行、異国を訪れる旅であったでしょう。

その豊かさを感じさせられたことと思います。

国民1人当たり所得は、オーストリア 58,013ドル(2023)、日本は 40,770ドル(2020)でスイス(83,803ドル)の半分です。訪れていいなと感じられる国は、やはり高所得の国です。

いろいろな施設が完備され快適です。

しかし、昨今の円安では、その楽しみも難しくなりました。

「昔はよかった」と感ずる年頃になりました。でもそれなりに楽しみはあります。

今年も残すところ後2ヵ月で、兎から龍へのバトンタッチ。 西山 和宏

○23:00

大石さん



八期オンライン 10月号 読ませて頂きました。

いつも 編集ご苦労様です。

安部さんの オーストリアの素晴らしい景色、家族との再会など 素晴らしい思い出となったことでしょう！

八期有志による ウィーン休日の LINEトークも読みました。

本田さんは闘病中の中、家族との再会、団欒、学生時代の方々との再会など。普通の方以上に、いろいろと旅行された様子、もう思い残すことはない・・・といったことが感じられるような旅行記でした。

信濃路の旅日記まで添えてありました。

松富かおりさんの 中東 イスラエル・ハマスの武力衝突、現地にも行かれた経験持っておられるのでくわしく状況を書いておられ、すこし背景も分かったような気がします。

大石さんの気ままな東北の旅行記も読みました。

別紙では、西山さんのアメリカ 消費 スーパー業界のレポート 日本のスーパーとは 規模、品数など すべてがダイナミックに感じました。

今月 10月号(第78号)は 盛たくさんの記事、読み応えありました。

一気に読みましたので すこし、疲れを感じた次第です。

有難うございました。 木場 祥雄

○1日 pm3:00



大石様 はじめ、皆様、ありがとうございました。

今回の、最後の、最後の「お江戸参り」と「錦秋の信濃路を求めて」の13日間の旅、息子・娘な度に猛反対を喰らいながら、自分も不安だらけでしたが、何とか安全に実行することができました。

それを、まあ、大石さんが写真を挿入してくれたり、適当に文章なども編集してくれたりなさりながら「オンライン日記」に掲載いただき、感謝感激です。 また多くの方々から、コメントもいただき、恐縮でした。

日程的には、もう少し時間が採れたらよかったのですが、「お江戸」も「信濃の高原」も、最高に楽しめました。

会いたい、見たいという一心での、自分勝手な「最後の望み」をかなえてくれたのは、周りの多くの方々の「お助け」があったからです。家族は勿論、航空会社、レンタカー会社、各地のホテル、ペンション、タクシー運転手、JLの職員の方々、まさに、身障者の無謀な旅を親切にサポートしてくれたこと、「これが一番」でした。

忙しい行程をこなしながら、一方では、ちゃっかり時間を取って、チャンと、例の江戸前の天井を浅草まで行って、ありつけたし、地元の名店の関東風「うなぎ」に出会えたりしました。

兄、兄嫁などとは「今生の別れ」でしたが、ほかの先輩、知人、友人、過っての職場の仲間達だって、もうこれが最後だと思えば、胸が痛みました。

しかし、自分の最後の「望み」が完遂できて、大きな「冥途への土産」が出来ました。

○11月1日 am7:40



木場さん

文面からお元気な様子を推察しています

でも 用心の用心を重ねてください。再会を期して！

○am7:48



本田さん

闘病者の闘病者とは思えない長旅への果敢な挑戦

驚異的なものでした。

ただただ、驚くばかりでした。

生きているということは、本当に素晴らしいものですね。西山 和宏

○8日 19:36

西山さん、はじめ皆様へ。



西山さん、おっしゃる「生きている」という事は、何とか挑戦でき得る事もあるという事に繋がりますね？！

今回の「旅」も、無謀といわれていたのですが、強い意志と目的を明確にすることによって、自分なりに何とか実現しなくては自分の活券にかかるという、妙な意識に駆られて、より慎重に、より安全にという基本的な心構えを貫きながら、多くの方々の「お助け」で、今回の「旅」も成就したのだと自己反省しています。

○9日 am7:47



おはようございます。

本田さん、無事に目的を完遂できて本当に良かったですね

活券に関わるということは大変なことであり苦勞することですね

お互いに、これからも「生きる」喜びを楽しみましょう。 西山和宏

○11月8日 **奥羽スケッチ10会津編** **動画リンク https://youtu.be/TRZXkE9mf_Q**



○大石くん9日 10:23

42分！ これは長編だなあ！ 見終わることができるかなあ！ というのが最初に見た時の感想です。

結果は、一気に見ることで終わりました。

「奥羽スケッチの旅」は一人旅を存分に楽しんだ旅に見えました。

会津若松の戊辰戦争から始まった日本の近代への動きのあった史跡を中心に市内周遊チケットを活用した探訪は興味が尽きませんでした。

ガイドさんやYoutubeのナレーションなどをうまく取り入れての編集なので、私もたくさんの知識を得ることが出来ました。

白虎隊の16, 7歳の少年たちの話や、会津から400戸・1500人もの人々が北海道開拓に当たられたとか、鶴ヶ城(若松城)のことなど興味津々でした。

最後の夜の居酒屋もいい思い出になったことでしょう。会津も馬刺しが有名だということも初めて知ることだったし、鹿児島島の焼酎が日本酒で有名な東北でもたくさん置いてあるのにも驚きました。

最後は会津磐梯山に見送られて旅を終えたのも良かったですね。

長旅ご苦勞様でした。この長旅の何篇にも渡る Youtube 作成も大変だったことでしょう。

○11:53



長い感想文、いつもながらありがとう

今から免許更新に谷山まで行ってきます。

昔は更新は楽しみさえありましたが、今は産業道路を走るのさえ億劫になりました。 ケイジ

○16:59 大石さん



奥羽スケッチ10会津編 メール頂きました。少し長いので どうしようかな・・・と
西山さん、隈元さんのメールをみせていただいてから、奥羽スケッチ10会津編が理解することが出来ました。
Web サイトで、戊辰戦争も見たりして、ようやく、理解できた次第です。

大石さんの youtube 作成も大変なご苦勞でしたが、見る方も時間的なもの、内容が広範囲にわたったものでした。
農村風景の中、列車が走っている画面を見ながら、大石さんの音声、文字説明見ながら、40数分見ましたら、
少し、目疲れおこし、西山さん、隈元さんのメールを見、Web サイトで戊辰戦争ほかを見て今回の奥羽スケッチ10
会津編はよく理解できたように思います。
有難うございました。 木場 祥雄



楽しく観ました。僭越ながら秀逸なででした。
出だしの車窓風景が良かった。

久しく列車には乗っておりませんが、家並みがなく田畑が続き昭和のような風景で鈍行かなと思わせた。
と観ていると、列車が停まった駅名に**山都**とあった。確かに「やまと」と読み、山の中ではあるが都ということかと
感心していると、列車が動き出した。駅名の表示板の後ろに、誰やらの誕生地の標識があった画面を戻して確認すると
蓮沼門三の誕生地とあった。

蓮沼は社会教育家で、喜多方市名誉市民
第一号とのこと、
それほどの人物の誕生地標識が駅名表示
板で覆い隠されているとは....
水銀中毒で阿賀野川は大雨の後なのか濁
流であった。その大雨に遭遇しなかったのは
ラッキー。
ラーメンで有名な喜多方の駅は静か。ラーメ
ンは結構よい値段でしたね。



会津若松鶴ヶ城、私が訪れたのは 50 年以上前、コンクリート作りの天守閣に登りました。

その天守閣までたどる途中の石垣のすばらしさに驚きました。
6月、初めて皇居東御苑を訪れるまで、城の石垣につけられている
傾斜は武者返しなどと思っていました。
しかし、東御苑を訪れてから、「城は石垣」と思うようになりました。
鶴ヶ城の石垣は本当に素晴らしい。
50 年以上前、東北のスーパーマーケットをライトバンで回っている
途中、天守閣のすぐ下に車を停めたと記憶しています。石垣はま
ったく記憶にありません。しかし、機会があれば訪れてみたい。



西郷頼母一族の自刃、悲惨ですね。

沖縄戦の終末にやはり、家族そろって自決したそうですが、生き残りの高齢の男性が言っていました、妹だかを
拳銃で殺した後、親から次はお前だと言われたとき、嫌だと言って逃げ生き残ったそうです。どうも親も生き残ったよう
です。

馬刺し、昔は、老廃牛とともに、高齢で使役に適さなくなった物が供されたのでしょう。それは農耕馬。

武士にとって、馬は重要な戦力ですからそれを食べるということは長期籠城も最後のときでした。

脚の速い馬が重宝されますが、武士にとっては一番乗りをするために、殿さまにとって、逃げる時敵に追いつかれられないために、良馬を求め、武芸では特に乗馬に力を入れて行ったそうです。

三方ヶ原の家康は、家臣の身代わりもあって、馬を走らせ生き延びて天下をとった。

いろいろ考えながら観ました。

大石さん

東北の良さを再認識させていただきました。

ありがとうございます。

西山和宏

○下池レポート



毎日ガザの痛ましいニュースですが、塩野七生氏によると、この地域は 2000 年の昔から同じ風景の繰り返しという。

理不尽侵攻、都市破壊、人道無視、住民殺戮、大量難民、、、

ガザは、南北 50km、東西 10km、

ほぼ現在の鹿児島市か種子島程度。



この狭い土地に 200 万人が閉じ込められ、南に北に逃げまどい、死者 10000 人越す殺し合い。阿鼻叫喚の世界。

なぜ？ はい、クリック→ <https://ccp-ngo.jp/palestine/gaza-information/> なるほどなあ！

こげな所に生まれんで良かったな。

鹿児島に生まれたご先祖様方のおかげさま。

ナンマイダ、ナンマイダ。

ワイワレン子孫の衆もよかったが。

○11月14日 12:32



下池さんのおっしゃる通り、人間、まずどこに生まれたかで運命が決まる。

鹿児島辺りに生まれたことに、まずラッキーと言って乾杯！

イスラエルの先祖はエジプトで、ピラミッド造りに奴隷として働かされ
モーセに救出はされたが、その後も祖国を持たない流浪の民で
「地上では旅人であり、寄留者であった」と言われた。

なぜ、エジプトで奴隷にされたのかまでさかのぼらないと今、起こっていることは理解できない。
と言っても本当の理解は当事者でない者にはできないであろう。

民族、宗教、農耕、遊牧などいろいろなことがからみあっている。
そこには平和という概念はないかもしれない。

ガザ、世界消耗戦の始まり

2023・11・9

宮家 邦彦 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹

○ほくそ笑んでい る中露イラン……本質は「宗教問題」ではない



西山提供レポート・解説

平和の持続は容易ではない

誰も単独では守れない

敵の敵は味方である

温和なお付き合いを長続きさせることは簡単ではない

イランはかつてペルシャとして大国であったというがトルコも大帝国であった。

そういえば、中国も世界に冠たる大国であった。

(本文)

宮家 邦彦 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹

今回のハマスとイスラエルの衝突が起きる 4 カ月前、私はイスラエルを所用で訪ねていました。

イスラエルに行くのは十数年ぶりでしたが、まず感じたのが、ずいぶん警備が緩くなっているなという点でした。

現在のイスラエルはハイテク産業が隆盛しており、経済も好調。訪れたテルアビブでは次々と高層ビルが建っていましたし、地中海に面したハイファという都市は、「中東のシリコンバレー」と呼ばれて大発展している。

ハマスの攻撃の後になって振り返ってみると、経済発展の結果、社会全体の緊張感が緩んでいたのかもしれない。

軍事的にも 9 年前の戦闘でハマスを圧倒した

過去がある。経済・社会が発展して、昔のような厳戒態勢を維持し続けることも難しく、イスラエル側は「もう大丈夫だろう」と気を抜いていたとしてもおかし

くありません。

2 世界最先端の軍事技術を持つと同時に、諜報機関のレベルの高さもよく知られています。

情報技術が発展した国ですから、今やドローンや衛星を利用した通信

傍受は得意中の得意。一方で、いわゆるヒューマンインテリジェンス、工作人員を

出して情報を取ってくるという「人的諜報」が疎かになっていたのかもしれな



い。

イスラエルが今回のような“失態”を犯すのは、1973年にイスラエルが当時占領中だったシナイ半島で、エジプト軍の奇襲を許して以来、半世紀ぶりです。第四次中東戦争のきっかけとなったその攻撃はユダヤ暦新年の最も神聖な贖罪の日、10月6日を狙って仕掛けられたものでした。今回のハマスの攻撃も10月7日。やはり宗教上の休日を狙って攻撃してきたのです。

私は1978年に外務省に入省した後、アラビア語研修生となりました。1980年にイラン・イラク戦争が勃発したときには、エジプトでアラビア語の研修中。

その2年後から在イラク大使館に勤務しました。イラク公使になる前には外務省の参事官、書記官がテロで殺害される悲劇があり、続いてイラク日本人質事件や殺害事件も経験しました。当時、外務副大臣とともに中東へ急行したことを覚えています。

かように、私は外務省では「アラビスト」でしたが、今回のガザを巡る問題については、政治的イデオロギーや宗教的信条を排し、「リアリスト」として分析してみたいと思います。

3 なぜハマスの奇襲は成功した？

10月7日早朝、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム系組織「ハマス」がイスラエルに対し数千発のロケット弾を発射し、戦闘員による攻撃を開始した。ロケット弾のいくつかはイスラエルの防空システムをかいくぐり、着弾。侵入した戦闘員は軍人・民間人を問わず殺害し、200名以上を人質として拉致した。一方、イスラエル軍もガザ地区を空爆して反撃。双方で数千人単位の犠牲者を生み、死者数は近年では最悪の水準となっている。



ハマスの奇襲は用意周到 ©時事通信社

なぜハマスによる奇襲は成功したのか。ハマスの用意は 3 つの点でじつに周到なものでした。

まず、アメリカやイスラエルの情報機関でもなかなか解読できない手段で通信して奇襲を遂行していること。イスラエルの諜報能力は高いレベルにあります

が、地下有線通信システムなど秘匿性の高いやり方で、大規模同時攻撃ができる

4

情報共有網を築いていたのだと思います。虚をつかれたイスラエルは過去にないほどの民間人犠牲者を出しました。

2 つ目は、多くの人質をとったこと。多数の人質を「人間の盾」として利用することで、イスラエル側はそうやすやすと大規模な反撃に踏み切ることはできません。軍事力の差が非常に大きいため、少しでも反撃までの時間を稼ぎたいハマスにとっては有効な作戦でした。

3 つ目は、ハマスの側が過去にない水準で入念に奇襲作戦を練ったこと。例えば、多数のドローンを使って、正確にイスラエル側の通信拠点や監視カメラを無効化することに成功しています。

用意周到ぶりは、次のエピソードからも明らかです。ハマスはイスラエル南部で行われていた音楽祭をはじめとして各地を襲撃し、人々を殺害・拉致しました。

イスラエルにはタイ人労働者が農業を中心におよそ 3 万人いるのですが、彼らを拉致する際にハマスの戦闘員がタイ語を話していたという証言が出ています。

どの国の人間がどの場所にいるかを正確に把握した上で、あえて外国籍の人間を人質として積極的に狙っていた可能性があります。

ハマスがこれほどの奇襲作戦を練り、遂行する能力があるとは、イスラエルや米国の情報筋も予想だにしていませんでした。

5

血で血を洗う地上戦になるイスラエルはハマス殲滅のため、一刻も早い本格的な地上侵攻開始を望んでいるはず。イスラエルは正規軍 16 万人以上に、今回、新たに招集した予備役 36 万人を加え、50 万人以上もの大軍を、10 月下旬の時点で、ガザとの境界へと集結させています。

一方、ハマスの側はイスラエルによる地上侵攻を 1 時間でも遅らせて、態勢を整えたいと考えている。ハマスの兵力は 3 万~4 万人程度とされており、そこにハマスに次ぐムスリム系武装組織「イスラム聖戦派」1.5 万人を加えると、およそ 5 万人の兵力がガザに潜んでいることとなります。

当然、装備でも規模でもイスラエル軍は圧倒的に優位にありますが、問題は、先述の通り、ハマスが 200 人以上の人質と多数の非戦闘員を盾に使う準備を進めていることです。

そのため、今回の地上侵攻は、過去 2 回の大規模地上侵攻に比べても、格段に困難な軍事作戦になることは想像に難くありません。このままイスラエル軍が性急に地上侵攻作戦を始めると、多数の人質や民間人が犠牲になってしまう。

そのため、アメリカはイスラエルに対し働き掛け、地上戦の開始を少しでも遅らせようとしています。

そのあいだに民間人を退避させ、人道回廊をつくって支援物資を送って、被害を最小限に抑えたいわけです。

6

地上戦では甚大な被害必至 ©時事通信社ハマスが人質を「盾」に潜んでいる数百キロに及ぶ地下トンネル網は、攻撃しにくいモスクや病院に繋がっているとされています。もし効率重視で戦うとす

れば入り口であるモスクや病院を破壊して、ハマスを一網打尽にしたいところでしょうが、このやり方では国際世論からの反発は避けられない。

9 年前の地上戦でもそうでしたが、イスラエルの特殊部隊はすでにガザに入り、情報収集を行っているはずで、いかに人質や非戦闘員の犠牲を最小限にとどめつつ、ハマスを殲滅するか、イスラエル軍は頭を悩ませているでしょう。私の考えでは、人質が返ってくる見込みのあるうちは、大規模な地上作戦は行わずに、情報収集に徹するだろうと思います。ハマスも人質を利用して時間を稼ごうとしているに違いありません。

でも、時間が経ち、ハマスがこれ以上、人質を返す気がなくなる、もしくは残された人質が殺されているかもしれないという状況になれば、イスラエルは本格的な地上侵攻を始める。そうなれば、おびただしい数の犠牲者が出る“消耗戦”になることは恐らく避けられない。

7 人質は 200 名を超えますが、そのうち外国籍を持つ人は 100 名強。残り 100 名ほどのイスラエル人は殺害されて



しまうか、イスラエル側に捕らえられたパレスチナ人囚人との交換の対象になる可能性があります。

年内の事態収拾はない？

懸念しているのは、イスラエルによる報復が一段落するまでに、相応の時間がかかるだろうということです。

似たオペレーションとして、2016 年にイラク北部の都市モスルをイラク・アメリカ連合軍が奪還した作戦があります。当時、モスルは「イスラム国」(IS)に占拠されていましたが、掃討作戦は難航を極めました。10 万ものイラク・アメリカ連合軍がたかが 8000 人程度のイスラム国の部隊を制圧するのに 9 カ月かかっています。

想定ではモスルは 3 カ月で落ちるとされていました。ガザでの地上戦も予想より 3 倍くらい時間がかかる消耗戦になると思っておいた方がいいでしょう。

市街地の戦闘は非常に難しい。どこに狙撃兵がいるか分からず、敵兵か民間人か見分けもつかない。民間人がおとりに使われるケースもあります。

8

ガザでの大規模な地上戦はモスルよりもはるかに状況が悪い市街戦ですから、おそらく血で血を洗う凄惨なものになる。年内に事態の收拾がつくことは難しいでしょう。

即時停戦を訴える向きもありますが、イスラエル国内であれだけの被害が出た上に、100 名ものイスラエル人の人質がいるのだから、ここでイスラエル側が何もしないことはあり得ません。もちろん、イスラエルがこれまで繰り返してきた入植地の拡大は国際法違反だと私も思います。しかし、国民を無残に殺されたのに安易に「停戦」などしたら、ネタニヤフ政権がもちません。彼らは元々、強硬派ですからハマスをガザ地区から殲滅するまで攻撃を止めることはないでしょう。

地上侵攻を睨むネタニヤフ首相 ◎時事通信社

最悪のシナリオは、ハマスをガザから殲滅したとしても、ガザを統治する者が誰もいないという展開です。市街戦でぼろぼろになったガザの人たちの水や食糧、電気といったインフラ、それに教育はどうするのか。必ず統治組織が必要になりますが、それをイスラエルが再び担うことはあり得ません。



元々は、PLO(パレスチナ自治政府)が統治していたものの、彼らでは駄目だったからハマスが台頭してきて、実質的な支配権を握ったという経緯があります。

今回の攻防でも PLO のアッバス議長はまったく存在感を示せていない。そんな組織に、残されたガザの人たちがついていくとは思えない。

では、イスラエルがガザに入って行って軍政を敷くかといったら、それこそ泥沼の紛争状態に陥るでしょう。イスラエル側も過去の経験で懲りているので併合は諦めている。

莫大なお金をかけ、多くの人の犠牲を払い、国力を消耗させてま

で、ガザを統治したいとは思っていない。イスラエルの言いなりになる傀儡政権を作るという選択肢もないわけではありませんが、成功する保証もありません。

では、アラブ諸国がやるかといったら、アラブ諸国もやりたくない。不幸なことですが、ガザは誰も統治したがる場所になっていないのです。

鍵を握るイラン

ここからは、少し歴史を俯瞰してパレスチナ問題を考えてみたいと思います。

10

そもそも、なぜこのタイミングで軍事衝突が起きたのか。今回のハマスによる

軍事行動の目的の 1 つは、イスラエルとサウジアラビアとの和平プロセスの進展を阻止することでした。

ハマスによる奇襲の直前までバイデン政権主導のもと、サウジアラビアとイスラエルとの国交正常化交渉が進んでいました。なぜアメリカはイスラエルとサウジアラビアを近づけたいのか。バイデン大統領の思惑は、イスラエルにパレスチナ独立国家を、サウジアラビアにはイスラエルをそれぞれ承認させて、アメリカを含む 3 国の連携によってイランを抑止することでした。確たる証拠は 10 月下旬段階ではまだ出てきていませんが、今回のハマスの先制攻撃にはイランの支援があったと多くの中東専門家は考えています。実際、ハマスは今回の戦闘によってサウジとイスラエルとの接近を防ぐことに短期的にはあれ、成功しました。

一般的に、パレスチナ問題は宗教上の対立が主たる原因で起こっていると考えられがちです。しかしより重要なのは、ハマスを、そしてそれを支援しているとされるイランが、イスラエルとサウジアラビアの接近によって自分たちに対する脅威が増すと考えていることです。

つまり、現代のパレスチナ問題の本質は、宗教対立などではなく、地域覇権をめぐる政治的対立と見た方がより正確なものです。

11 サウジの“イラン恐怖”

では、なぜムスリム同士のイランとサウジは対立しているのか。この点は、日本人からは縁遠くて分かりにくいかも知れません。

もともと、イランはアメリカと組んで石油資源の開発を進め、パフレヴィー朝の王家が「湾岸の警察官」の役割を果たしていました。ところが、1979年2月に「イラン革命」が起き、シーア派のホメイニを最高指導者とするイスラム共和制国家が誕生すると、周辺のスンニ派・アラブ諸国からすると、何をすべきか予測できない、危ない存在となりました。

強調したいのは、ペルシア帝国の流れを汲むイランは歴史的に見ても、湾岸アラブ地域で圧倒的な影響力を誇っているということ。サウジアラビアの東部油田地帯、あるいはイラクの南側も、シーア派の住民が多く住んでいるのは、いずれも、昔、イランが支配していたからです。そもそもイランとアラビア半島とのあいだにあるアラビア湾が「ペルシャ湾」と呼ばれているのも、旧ペルシア帝国であるイランが強国だったからです。

歴史的に見ると、この地域はずっとイランが大帝国として君臨していたわけで、石油が出るまで都市国家にすぎなかったサウジ等には、どこかに「逆立ちしてもイランには勝てない」という潜在意識がある。サウジを始め、ペルシャ湾岸のアラブ諸国はイランが怖くて仕方ないんです。

12

革命後のイランはアラブ諸国に容赦なく圧力をかけるようになりました。テロも相次ぎ、石油施設を狙った攻撃なども多発。2016年にはイランのサウジアラビア大使館が襲撃される事件も起こり、国交も7年にわたって断絶しました。今年3月に中国の仲介で外交関係は正常化こそしましたが、イランが脅威であることは変わりありません。

サウジから見ると、ペルシャ湾を挟んでイランと睨み合っているかと思えば、背後にはイスラエルがいる。強力な軍事力を持たないサウジから考えれば、多少、政治的な妥協をしてでも、自国の安全保障を優先してイスラエルと連携し、宿敵イランに対抗しようとするのはまったく理にかなっているのです。

パレスチナ問題は“建前”

これまでサウジアラビアなどアラブ諸国は、アラブの大義という“建前”から、イスラエルとの関係は深めないという態度をとってきました。しかし、近年ではイスラエルより、むしろイランを脅威だという“本音”をベースに自国の安全保障を考え直しているのです。

13

イスラエルはイスラエルで、イランを恐れる理由があります。ハマスを支援していると見られるのは前述の通りですが、イランのイスラム共和制指導者は、イスラエルに対して敵意剥き出しなのです。「エルサレムはイスラム教の聖地であり、この地を支配するユダヤ教国家イスラエルはパレスチナ人を抑圧する悪魔」とまで宣言している。イスラエルから見れば、自国を地球上から抹殺すると公言するイランに脅威を覚えるのも当然です。

アメリカがアフガニスタンから撤退し、中東地域でのプレゼンス(存在感)低下を実態以上に意識させたことも、サウジやアラブ諸国にイスラエルと連携した安全保障の枠組みを作る機運をもたらしました。もうアメリカが中東地域に関心

を持たないとなったときに、自分たちで生き延びるために、イスラエルも含めた多角的なネットワークを作っておいたほうが良いと考えたのです。

このようなアラブ諸国の“本音”が表面化したのが、2020年の「アブラハム合意」です。アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーンとイスラエルが正式に国交を結ぶという合意でした。そもそもエジプトやヨルダンには既にイスラエルと平和条約を結んでいます。スーダンやモロッコも、次々とイスラエルと国交を回復しました。

ただし、このアブラハム合意にサウジアラビアは入っていません。というのも、サウジアラビアはメッカとメディナというイスラム教の 2 大聖地を抱える

14

「イスラム世界の盟主」であり、パレスチナ問題を抱えるイスラエルと簡単には合意することができないのです。

サウジとイスラエルの溝は相当に深い。そのためアメリカは長年にわたって、水面下で両国の関係改善のために尽力してきました。

アブラハム合意以降、アメリカはイスラエルとサウジアラビアに対して働きかけを強めます。お互いに「イスラエルとパレスチナという 2 つの独立国家」を認めるよう水面下の交渉が進みました。

報道によれば、サウジアラビアは米国に対し、「(1)サウジ自身の安全保障」「(2)ウラン濃縮など核開発への支援」「(3)最新兵器の供与」「(4)パレスチナ問題でイスラエルを説得し何らかの進展を見せる」という条件を求めていたそうです。

アラファトの責任

先月のハマスによる奇襲攻撃は、こうしたサウジとイスラエルの接近をぶっ壊すために行われたものです。サウジはパレスチナ問題という“建前”のために、イスラエルを非難しなくてはならず、見事に和平プロセスは頓挫した。ハマスやイラ

15

ンは、イスラエル、サウジをパレスチナ問題という“泥沼”に再び引きずり込み、少しでも中東におけるアメリカの影響力を低下させたいのです。

誤解を恐れず言えば、サウジやアラブ諸国にとって、パレスチナ問題は、もはや「絶対に解決しないといけない大義」ではありません。今のアラブ諸国にとってイスラエルは主たる敵ではなく、最も大きな脅威は、かつての大帝国であり、今は宗教過激派に統治されているイラン。

多くのアラブ諸国は君主制もしくは独裁体制をとっており、統治の正統性を十分確立できていないため、建前上、パレスチナ問題を「アラブの大義」として重視するポーズをとらざるを得ません。反イスラエル感情で国内を一致団結させ、自分たちの体制への不満をそらそうとしているだけなのです。

私はパレスチナ問題解決の最大のチャンスは、2000年に行われた最終地位交渉だったと思います。あのとき、イスラエルは 1 度、「パレスチナ独立国家樹立」まで認める決断を下していた。けれど最終局面で、当時のパレスチナ側の代表である PLO のアラファト議長は、イスラエル側が最大限譲歩した案を受け入れませんでした。「アラブの大義に背く『裏切り者』』といった批判を恐れたからだと思います。

16

もし、あそこでアラファトが自らの命を賭して妥協し、独立国家パレスチナを作ってしまうと、今起きている悲劇はありませんでした。アラファトは、ベッドの上では死んではいけない、重い役目を背負っていたのに、ベッドの上で死のうとしました。

結局、暗殺などを恐れて決断することができなかったから、かえって收拾がつかなくなり、他のアラブ諸国からさえもパレスチナが見捨てられてしまった。パレスチナの人々は、次々とイスラエルと関係を改善していくアラブ諸国を見て、自分たちは「見捨てられた」と感じているはずだ。

世界消耗戦が始まる

パレスチナ問題は決して日本と無関係ではありません。

アメリカと NATO は残念ながら、欧州戦域でロシアによる戦局拡大を抑止できず、ウクライナ戦争が始まってしまいました。

それに続いて、今度はパレスチナでも、イランが背後にいるハマスを抑止することができませんでした。

その結果、当たり前ですが中東も欧州も不安定になり、インド太平洋に割くはずだったアメリカの力も削がれていく。こうした状況には中露ともほくそ笑んでいるだろうと思います。

17

そこで見えてきたのが“世界消耗戦”という新たな展開です。

一昔前なら、欧州、中東、インド太平洋はそれぞれ別の戦域として考えていけばよかったのですが、グローバル化が進んだ現代では、世界を 1 つの戦域として考えた方がいい。中国、ロシアとイランの 3 国は連動している。ロシア軍はイランのドローンでウクライナ戦争で使っています。中国からは軍事支援がもらいたくしてしょうがない。

だから中国を抑止するためには、私たちはイランとロシアも同時に抑止しなければいけない。彼らが中国に加担したら、もはや手に負えません。

この 2 年近く、日本は、とにかく中国をのさばらせないように一生懸命ウクライナを支援しました。ここでロシアが勝ってしまったら、次は中国が同じように武力による現状変更に乗出しかねないからです。けれど、それには中東が安定していることが前提でした。

ウクライナ戦争が継続している今、ハマスとイスラエルが交戦状態になり、これが中東の他の地域に拡大する、もしくはイランが直接関与してきたら、世界的規模の戦争になる恐れがあります。

3 つの戦域は連動していますから、次に危ないのはインド太平洋です。おそらく、これが 100 年前だったら、第二次世界大戦のような全面戦争になったでしょう。

18

ただ、ウクライナ戦争を見れば分かるように、現代で全面戦争をしようにも核抑止が効いていて、各国が総力を挙げる世界大戦にはならない。

今後は、おそらく限定的な戦争、小さな紛争が世界のあちこちで断続的にくすぶっていく時代になっていく。つまり“世界消耗戦”が長く続いていくことになるでしょう。

日本のまわりでも現状変更は起きつつあると考えた方がいい。たとえば 10 月 22 日には南シナ海で、フィリピン軍の輸送船が中国海警局の船から危険な接近を繰り返された上に衝突する事件がありました。

中国は、いまや南シナ海ほぼ全域の領土主権を一方的に主張しています。私はこのような動きが、ウクライナやパレスチナで起こっていることと関係なく、偶然起きたとは考えていません。

中国は、こういった小競り合いに対して、フィリピンだけでなく、日米がこの世界情勢の中で、どう反応するのかテストしているのでしょう。彼らは決して一気に戦争を仕掛けてくるわけではない。

常に相手を見て、相手をテストして次の行動に移る。ハマスも今回の攻撃に移るまで、数々のテストをしてきたに違いありません。そうであれば、インド太平洋地域でも小さな現状変更がある日、ハマスの奇襲のように大がかりな現状変更へと変貌する可能性も否定できないのです。

こう考えれば、ウクライナや中東で起きていることと同じことが私たちの周りでも、静かに起きているかもしれません。このことを私たちは冷静に、かつ正確に理解しておくべきです。

●11月20日 15:42



西山さん

宮家邦彦さんの寄稿文 今回のイスラエルとハマス衝突 民間人を巻き込んで、戦闘行為 全体的に 背景状況よく、理解できたように思います。

有難うございました。

これ以上、おおきな世界規模の戦争に進展しないように、望んでいる次第です。

中国、ロシア、イランが出てくると、特に 中国は 台湾統一…、アメリカがどのように絡んでくるか、日本も安閑としておられないような状況になった来るのでは…と心配になってきます。

問題は アメリカが トランプ政権以降 世界の警察 放棄、国連の機能 低下などにより、停戦に持って行くという機能がなくなってしまうと思います。

アメリカ内部もいろいろ意見出ているようですが、第46代 ジョー・バイデン政権の中で、アントニー・ブリンケン 国務長官、ジェイク・サリバン 大統領補佐官(国家安全保障担当)、ビクトリア・ヌーランド 国務省副長官の3人は、戦況拡大を願っているとも言われているようです。アメリカは 兵器を製造、輸出したら、国としては 儲かります。

ウォール街の人たちもそう望んでいる人たちが、おられるのではないかと…と思っています。

ウクライナ戦闘も含め、早期終結と望む次第です。昔は 戦争主体は 軍人さんたちでしたが 今は 民間人を盾にして行われ、テレビなどによる現地取材映像 見るに堪えない映像が多く、見ないようにしています。

11月20日 16:59 西山発



○メールありがとうございます。

国益を守れるしたたかな外交ができる外交官に期待しますが
妙なタイミングで外務大臣を代えてしまいました。

総理大臣には選挙よりも国民の利益を優先して欲しい。

11月20日 18:21 木場発



西山さん

返信メールありがとうございます。

言われるように 一番 外交が重要な時に 上川大臣は語学も出来、優秀な方かも知れませんが、外交は継続性も大事かと思えます。

今の国会議員さんは、国民 有権者 の事は忘れ、私利私欲だけ…と言う感じです。

ひどいものです。

少子化対策、減税…などなど 財務省から 梯子を外され、大変な状況となっています。

岸田さんに変わる人が 自民党内に噂されておられるようですが、顔ぶれを見ても 大した人物 議員さん居られないようです。今は 自民党の皆さん 岸田首相を選んだのですから、盛り立てて 行くべきかと思いますが、奈良県選出の 高市代議士さん 岸田内閣の大臣なのに 勉強会なんて 開くようなことしたり、奈良県民として 恥ずかしいです。もっと サポートしてあげたら…と思っています。

無茶苦茶な状況に なってきています。 以上 木場 祥雄



追伸 今、日本の失われた30年ということ関連について 勉強しています。

1980年代に いろいろな意味で 世界ナンバーワンとか…言われ、半導体でも 一番…になりましたがその後、日本の半導体 含め すべてが ダメになりました。学卒初任給与も ほとんど 上がっていません。

派遣労働法の改正なども 大きな要因となっています。 外国人留学生制度も 30万人を予定していますが 大学、大学院は来なくて、日本語学校留学生が主体で、アルバイト勤務時間の制約も ゆるくなっており、日本の若者の働きぐち 給料 UP に 悪影響を与えています。 これらも一部の 国会議員が 利権の巣窟となっているようです。

安倍首相が 北方領土返還 ロシアとの交渉し、期待を国民にもたりましたが、 アメリカは 日本列島のいずこにも 基地をつくれるという秘密契約がある…ロシアから もし、返還した場合 アメリカが基地を作らないという約束を取り付けてほしいと元安倍首相に条件つけられていたとの事、アメリカが許すわけでない、この話はもともと無理な話であったようです。 マスコミはなんにもほうどうしていません。 安部元首相はマスコミの上層部とよく会食、情報交換していたとの事のようにです。

所詮、日本は 太平洋戦争に負け、講和条約ご70年なりますが、独立した国ではなく、未だに、アメリカの属国ということで、全てがアメリカのご機嫌伺うということになっているようです。ハワイに次ぐ、第52の州と思われて仕方ありません。アメリカさんなしでは日本は生きていけません。

○19:30

木場さん

その後、お元気にお過ごしでしょうか？

お元気で、来年5月頃、もう一度上京をしてください。

それを目指して頑張ってください。 西山和宏

○22:57

西山さん

お心遣いいただき、ありがとうございます。

その後の状況は、、担当医師の診察を受け、話し合いました。腹部の方は、あまり小さくはなっていないが、特に問題なし。回復順調との事

もし、急に足の痛みで歩けなくなるような時は、いつでも連絡してほしい。その時は、別途検討するということになります。以上のような、状況にあります。

来年、春先には 普通の体に戻ることにしたいと思います。今は、4~5千歩のウォーキングに努め、特にこれといった痛みも感じません。ただ、坂道、長時間の歩きは、足の疲れ、痛みが出てくるような気がしております。

と言った状況にあります。

早く、元の状態になり、東京での再会を願っています。有難うございました。

木場 祥雄

Am7:22



○おはようございます。

まあ～ 何とか順調に回復のようでしょうか？

少なくとも悪化はしていない様子 でも用心が肝心

私も1日、4000～5000歩の歩きです
疲れたと思ったらベッドに横になって読書
お陰で随分読んでいます

先日「竜馬がゆく」文庫8冊読了

今、モーセを少し読んでいます

パレスチナも大変ですがイスラエルの歴史も苦勞に満ち

時には神から見放されたこともあるようです。平和な日本、せいぜい歩きましょう。

西山和宏

○am11:36



西山さん

早々に 返信頂き有難うございます。

「用心が肝心」心がけるようにします。

さて、「竜馬がゆく」相変わらず、すごい読書力 見習いたいです。

私は、パレスチナ⇄イスラエル問題は 歴史的にも 複雑、アメリカは多額の援助しても兵器など 自分の国で 生産したものを提供しています。採算は取れますが、日本はまるまる出費となります。

国内は、今、減税、将来的には増税？ など 今の国会見ていると、なにがなんだか、分からなくなります。

国会議員の皆さんが、もっとしっかり仕事してもらわねば・・・とおもっている次第です。

首相、大臣の給料UP なにか言われれば、国に寄付します・・・など、財務副大臣が、税金未納？

国会議員さん、もっとしっかりしなさい！と言いたくもなります。

今、私は、失われた30年問題に興味を持ち、過去の首相がどんな政策を打ち出し、実施したか？

自民党の問題だけでなく、わずかの期間ではありましたが、民主党政権のだらしなさなどを記事を引っ張り出し、読んでいます。

小沢一郎氏が自民党幹事長の時に、定めて、衆議院議員の中選挙区制度が、大失策でこれが、日本国会議員がだめになった原因ではないかと思っています。

初任給料は上がっていない、GDP は 世界4位、中間層も貧しくなっています。

昔は、公務員の給料は民間より高かった、郵政民営化で 郵便局で働いている人たちも大半が非正規雇用化、

公共事業が少なくなり、地方は、これらにより、潤っていた面がありますので、今は、ますます、地方格差が広まってきています。ふるさと納税など、政府がブレーキ踏まずにもっと、地方がやりやすいようにサポートしたら・・・とったりしています。

長くなりました、この辺にします。

認知症防止も含め、なにかを求めて過ごすように努力しております。

返信メール御礼まで

○16:54



何かと言えば呆れることが多いですね

おっしゃる通り、税の増収があったから還元とは、今年も多額の国債を発行しているはずです。

1964年、東京オリンピックで、多くの公共工事もあり景気は盛り上がり税収も増えました

その翌年、反動で景気が落ち込み税収は減少。その減少分を埋めるために戦後初の赤字国債を発行しました。

それまで、資産として後世に残る公共事業のため建設国債は良いが赤字国債はいけない、

だめだと不文律を破り、その後、恥ずかしげもなく税収不足を国債発行に頼る国家運営をしてきました。

この間の戦争も国債発行で賄い、戦後のインフレでチャラにしました。

今の累積国債もそれと同じ道を辿るしかチャラにする方法はありません。

いつかきた道、ああ～、そうだよということにならなければよいのですが。

国の富を実質的に増して税収を増やし、徐々に国債を召喚すべきでしょうがそんなことを考える政治家も高級官僚もいないでしょう。

国民は貧しくなっても、エスタブリッシュメントたちは豊かになっている。

小選挙区制は、アウトロー、無法者の世界です。

親分が政党助成金の配分を決める。選挙の候補者を決める。

選挙での選択肢の幅は極めて狭い。

選挙地盤は封建時代の家督相続のように引き継がれている。

それを壊したのは黒船。

今日はここら辺りまで.....



11月18日 16:34

西山レポートをお送りします。

○17:21 大石コメント



11月も半ば過ぎました。

すっかりというか、急に木枯らし吹く冬がやってきた感じです。風が冷たくてウォーキングがこたえます。レポートありがとう。

今月号はグラフがなくて読みやすかった。

AI やロボットの話も興味深いものでした。

○20:15 西山アンサー



メールありがとうございます。

私は、朝 6 時前後に 10 分ほど歩いていますが手袋が欲しい感じです。

開拓時代初期の米国は、随分とトウモロコシに助けられました。

映画「ジョエロニモ」だかそんなような映画のラストシーンでジョロニモが最後に逃げ込んだのはトウモロコシ畑であったが、火をかけられた。

恩を仇で返した白人を象徴するシーンとして観た。

西部劇で、野宿などで豆を食べると言っているのはトウモロコシだと思います。

春先から初夏にかけて植え付け、3月で収穫できる効率のよい食物です。

瀋陽から大連の間、車窓からトウモロコシ畑がたくさん見られました。

中国にもトウモロコシにまつわる話がありそう。

日本では北海道が最大の産地ですが、農村地帯で道路際に植えられているのは家畜のえさ用に固く人間には食べられないそうです。

米国人を象徴するメニューにミート&ポテトがありますが、1980年代、ボストンのちょっと良いレストランでは、求められたら茹でたコーンを無料で配る女の子が客席の間を歩いていました。

コーンの調理はレンチンが、美味しさを保ち簡単で良い。

○11月22日 12:37 西山発



なぜ新京成電鉄はクネクネと走るのが...そのカーブには日本の近現代史が凝縮されていた

日本陸軍「鉄道連隊」の研究 第1回

早坂 隆

2023/11/20

不自然かつ異様な S 字カーブの連続

千葉県津田沼と松戸を結ぶ新京成電鉄は、家屋の合間を細かく縫うようにして、右に左にクネクネと走っていく。その軌道はまさに S 字の連続であり、ある種、不自然かつ異様である。なぜ、新京成電鉄は不思議なほど曲がりくねっているのか。その理由には、まさに日本の近現代史そのものが凝縮されている。



新京成電鉄の車窓から撮影した線路の様子。レールがクネクネと曲がっているのが分かる（筆者撮影）

新京成電鉄は元々、戦前戦中に陸軍の鉄道第二連隊が使っていた演習線（通称・松戸線）の線路を、戦後になって旅客用に転用したものである。もちろん、修正されている部分も少なくないが、その基本となっているルートは、鉄道連隊時代のものである。

では鉄道連隊とは何か？日清、日露、第一次世界大戦、そして大東亜戦争（太平洋戦争）と続く近代戦争の中で、実は鉄道連隊は「重要な脇役」であった。戦地に鉄道を敷き、その運用を含めて補給を根本から支える。敵に破壊された路線を速やかに補修、復旧させる。時には武装した車両で、敵兵とも戦った。

日本の鉄道連隊は国内から朝鮮半島、満洲、中国大陸、そしてアジア各地へと活躍の場を広げ、終戦前には映画「戦場にかける橋」で有名な泰緬鉄道の悲劇へと繋がっていく。近代戦において、鉄道は「最新鋭の道具（武器）」で、これを有効に使えるか否かが、戦況を大きく左右した。

その鉄道連隊の演習線は、なぜ急カーブが多いのか。その理由はいくつかある。演習線では、鉄道を敷く技術力の向上のため、あえて難しいカーブが設けられる。もちろん、敷設後は運転手の腕を磨くのにも最適である。簡単な条件下の演習では、戦地での困難な軍務に耐えることができない。

また、当時の陸軍の内規により、一つの鉄道連隊につき45キロメートルの運転区間をつくる必要があったことも、急カーブの多い理由の一つである。限りある用地内で距離を稼ぐには、カーブが多いほうが良い。



さらに、線路が蛇行しているほうが、敵機からの空襲を受けた場合に避けやすいという考えもあったようだ。以上のような理由から、鉄道連隊の演習線は急カーブが続く軌道となっており、それが現在の新京成電鉄にまで引き継がれているのである。

現在、多くの乗客はそんなことなど知らぬまま、通勤や通学にこの路線を利用している。2
馬や人力が主力……兵站輸送に苦慮した日清戦争
日本の鉄道連隊が描いた「軌道」をなぞっていくと、日本の近代史に関する新たな像が見事に浮かび上がってくる。

実は日本の近代戦争において、極めて大きな役割を果たしていた鉄道連隊。忘れ去られた夢の跡には、あまたの笑みと涙と血が滲む。知られざる 鉄道連隊の哀歓を綴りた

い。明治維新後、鉄道は「最新鋭の乗り物」「文明開化の象徴」として、日本に流入した。日本で最初の一般鉄道が開業したのは、明治 5 (1872) 年 10 月 14 日。汽笛が鳴り響いたのは、新橋～横浜間である。

その後、明治 7 (1874) 年 5 月に大阪～神戸間が開業するなど、日本各地に官設鉄道や私設鉄道が次々と開業し、拡充されていった。「鉄道時代」の幕開けである。

日本は明治 27 (1894) 年 7 月に日清戦争に突入。翌 28 年に勝利を収めた。昭和 7 (1932) 年に刊行された『鉄道第二連隊歴史』(帝国軍隊歴史刊行会)によれば、日清戦争時、日本は「臨時鉄道隊」を組織し、北支(北支那)に位置する山海関～天津間の鉄道の修理などを行ったとされる。これが日本の鉄道部隊の「起源」だという。

鉄道連隊の訓練風景。レールを固定する犬釘を打ち付けている

(鉄道第五連隊戦友会『栄光の鉄道部隊記念写真集』より) 日清戦争を通じ、日本は前線における兵站輸送に苦戦。最前線では、馬や人力による輸送に頼るような状況だった。

兵員や軍需物資の速やかな輸送は、軍にとって重要な課題となっていた。



いくら優秀な兵士や兵器を準備しても、戦場に迅速に投入できなければ、戦況を有利に進めることはできない。それまでの馬や人力とは桁違いの輸送力を持つ鉄道の存在が、

3 戦争のかたちを変えようとしていた。軍用トラックなどの自動車が戦争に使用されるようになるのは、後の第一次世界大戦頃からである。

そんな中で、日本軍が力を注いだのが鉄道部隊の創設であった。当時、欧米列強の多くは、すでに鉄道部隊を有していた。日本もそれに続こうと考えたのである。

鉄道部隊の創設は、日清戦争後の軍制改革における喫緊の命題の一つに位置づけられた。鉄道部隊を的確に運用することが、戦争の趨勢を大きく左右する時代が来ることを、十分に認識していたのである。

こうして明治 29（1896）年 4 月、東京の牛込区市谷にある陸軍士官学校の構内に、鉄道大隊の編成事務局が誕生。そして 11 月 18 日、陸軍に鉄道大隊が産声をあげた。所属は近衛師団である。組織として教科書としたのは、ドイツ陸軍であった。一般鉄道の開業時にはイギリスを模範としたが、鉄道大隊に関しては、陸軍の親独姿勢を反映してドイツが手本とされた。

鉄道 2 個中隊、電信 1 個中隊（後の電信隊）、材料廠という部隊編成である。初代大隊長は、工兵中佐の吉見精。陸軍士官学校第 1 期生の俊才であった。

千葉公園に残る、鉄道連隊演習線のトンネル跡（筆者撮影）中野駅前
前で本格的訓練。義和団事件では海外へ

創設翌年の明治 30（1897）年 6 月、鉄道大隊は甲武鉄道（現・JR 中央線）の中野駅前に転営。当時のこの地には平坦で広大な土地が広がっており、鉄道部隊の演習地として最適であった。中野駅からの引き込み線として演習線が敷設され、この地において鉄道



4 兵らの本格的な訓練が始まった。蒸気機関車の運転はもちろん、線路の敷設、修理など、訓練内容は多岐に及んだ。甲武鉄道から人員の派遣を得て、新米の鉄道兵らは様々な技術の習得に励んだという。

明治 33（1900）年には、清国において義和団事件（北清事変）が勃発。外国勢力の進出などに反対する民衆が、宗教結社の義和団に入り、各国の大使館などを次々と襲撃した。この外国人排斥運動に対し、アメリカやイギリス、フランス、ドイツなど、8 カ国が連合軍として出兵。日本もこれに参加した。

日本の出征軍の中には、鉄道大隊から組織された臨時鉄道隊の姿もあった。義和団の攻撃により、線路が剥がされたり、橋が破壊されるなど、各地の鉄道施設も被害を受けていたためである。その復旧支援のため、各国は鉄道部隊を送り込んだわけだが、これはもちろん、無償の奉仕活動というわけではなく、その後の権益を見据えてのことである。

日本の鉄道部隊は、イギリスなどと共に、北京～天津間の復旧活動に参加することになった。ところが、日本から中国大陆に渡るために乗船した「薩摩丸」が、濟州島の沖合で座礁してしまう。この影響で到着が遅れたため、日本の鉄道部隊は復旧支援の中で最も困難とされた両駅の間地点地域の修理作業を担うこととなった。さらには、この路線の元々の権益を有していたイギリスから警戒され、邪魔さえされたこともあった。結局、日本の鉄道部隊は、黄村～楊村間の約 80 キロメートルの復旧を担当した。資材の不足に苦しめられた他、作業中に襲撃に遭い、犠牲者も出た。

そんな困難な状況にあった同隊であったが、吉見隊長の的確な指示のもと、その高い技術力と献身ぶりは、他国の部隊を驚嘆せしめた。任された区間の作業を、想定以上のスピードで完了させたのである。さらには、

作業の進展に苦勞していたイギリスの部隊を 支援。警戒の目さえ向けていたイギリス部隊を助けたその姿勢と、極めて高い技術力には、イギリスはもちろん他国も改めて驚いたのであった。

創設からまだ歴史の浅い日本の鉄道部隊であったが、その水準が極めて高いものであったことを窺わせる逸話と言えよう。ただし、吉見隊長はこの軍務中、赤痢に罹患して戦病死している。開国以来、欧米の様々な技術力を積極的に取り入れて工業力の向上に努めてきた日本は、製鉄や機械工業などの分野において海外勢を上回る水準にまで達しようとしていたが、「鉄道力」もその一つだった。新橋～横浜間を走った日本最初の蒸気機関車はイギリスから輸入したものであったが、それから約 30 年で立場は大きく変わりつつあった。

5 一方、ロシアはこの義和団事件に乗じ、自国が満洲に建設していた東清鉄道の保護を名目として、満洲全域に軍を進めた。ロシアは遼東半島南端の旅順などの租借にもその後、成功。日本との対立を深めていくことになる。

結局、日本の義和団事件に関する迅速な派兵と対応を最も評価したのはイギリスだった。イギリスは以後、ロシアへの牽制の意味を含めた日英同盟の締結に舵を切っていくことになる。鉄道連隊の活躍も、イギリス内における日本軍のイメージアップに貢献したと言えるのかもしれない。



満洲事変当時の装甲列車（鉄道第五連隊戦友会『栄光の鉄道部隊記念写真集』より）ソウルから伸びる鉄道網も整備した 明治 37（1904）年 2 月、ついに日露戦争が勃発。日本の鉄道部隊は「臨時鉄道大隊」という編成となった。大隊長は、工兵中佐の井上仁郎である。井上はドイツで軍用鉄道に関する最新の知識を研究した経歴を持つ人物であった。後の陸軍中将である。

3 月、そんな井上の指揮のもと、臨時鉄道大隊は朝鮮半島の仁川に上陸。朝鮮半島は、日本本土から前線である満洲一帯へ、兵員や兵器、糧秣などを運ぶための重要な輸送路であった。そのための鉄道路線の早急な整備と維持が、同隊の重要な役目となった。同隊は、京城（現・ソウル）を中心とする鉄道網の整備に取り組んだ。

当時の朝鮮半島には、日本が敷設権を得たうえで資本投入した「朝鮮初の鉄道」である京仁鉄道（京城～仁川間）しか未だ開通していなかったため、新たに朝鮮半島の北部を縦断する京義線（京城～新義州間などの路線の建設に着手することになった。

これらの作業は、同隊だけでなく、逓信省鉄道作業局の他、大林組や鹿島組といった民間の建設会社などと協力するかたちで進められた。



6 朝鮮半島における鉄道整備は、日本にとって大きな「国家プロジェクト」であった。朝鮮半島の鉄道網は、その後の日本統治時代にさらに整備されていくが、それらは現在の韓国を走る鉄道路線の下地となっている。

このような歴史について韓国国内では様々な議論があり、同国ではもともと京仁線が開通した9月18日が「鉄道の日」だったが、これが「日帝残滓」とされ、2018年からは6月28日に変更となった。大韓帝国鉄道局が創設された日である。

千葉・習志野での鉄道部隊。軽便機関車（右）と軽便モーターカー

（鉄道第五連隊戦友会『栄光の鉄道部隊記念写真集』より）

鉄道で運んだ「28センチ榴弾砲」が日露戦争の戦況を変えた。

日露戦争とは、鉄道路線の奪い合いという側面もあった。臨時鉄道大隊はその後、休む間もなく満洲に移動し、安東（現・丹東）～奉天（現・瀋陽）間を結ぶ路線（後の安奉線。現・瀋丹線）の建設に着手。同路線は、レールとレールの間である軌間（ゲージ）が762mmと狭い軽便鉄道だったが、その距離は約300キロメートルにも及んだ。山岳部には切り通しをつくり、河には橋を架けて鉄道を延ばした。急勾配や急曲線といった難所も多く、建設中の事故も少なくなかったとされる。この路線は急造のために脱線事故なども起きたが、鉄道兵らは迅速な輸送の実現のため、昼夜を問わず懸命に汗を流した。

7 日本軍の攻勢によってロシア軍が後退すると、日本側は東清鉄道の蒸気機関車などを鹵獲。さらに、軌間1524mm（広軌）のロシアゲージを、1067mm（狭軌）の日本の規格の線路幅へ改軌するなど、鉄道部隊は難しい作業に取り組んだ。線路の片側一本を外して内側に正確にずらしていくのである。

当時、世界各国の線路幅は、国によってその規格がそれぞれ異なっていたが、これも戦争がその大きな要因である。例えばロシアは、ヨーロッパの鉄道各線とあえて異なる線路幅を採用していたが、これはヨーロッパの国々が鉄道を使って一挙に侵略してくることを恐れていたことであった。同じ線路幅にすれば、輸送力は向上し、経済面でのメリットが得られるはずだが、それよりも国防を優先したのである。

そんな状況下、日本は満洲一帯における路線の改軌を速やかに進め、国内から多くの機関車や車両を運び入れ、同地での運用を可能とした。その結果、日本軍の輸送力は飛躍的に向上した。

その効果が最も発揮されたのが、有名な「旅順攻略戦」である。ロシア側が旅順に築いた堅牢な要塞を攻略するにあたり、日本軍は甚大な数の犠牲者を出し続けていた。それは銃剣を持った兵士たちの白兵戦であり、肉弾戦であった。鉄条網によって前進を阻まれた突撃部隊は、機関銃によって薙ぎ倒された。死屍累々の光景であったという。

そこで日本は、国内から強力な大口径砲である28センチ榴弾砲を現地まで輸送することを決断。内地の沿岸要塞に備え付けられていた28センチ榴弾砲を取り外し、海路で運んで大連湾から揚陸。改軌したばかりの旅順線によって前線まで送られることになった。28センチ榴弾砲は分解して貨車に積まれ、ロシア軍に発見されないよう、夜間に出発。煙や音に注意を払いながら、無事に前線まで搬送することに成功したのである。

この28センチ榴弾砲が複数、投入されたことにより、戦況は大きく転じた。第九師団第六旅団第三十五連隊付だった三等軍医の日野信次は、その威力をこう記している。〈殷々として鳴り響く重砲の雄。轟々として

天空に爆裂する榴散弾の壮。黒煙天を覆うて 地軸裂く。此処を先途と射つや鼓の乱拍子……乾坤唯是れ雷撃雲裂の轟きのみ〉（『日露戦争 第三巻』）

重砲の威力を見た参謀たちは、「快哉、快哉」と歓呼したという。8

こうして戦況は日本軍の有利となり、難攻不落と言われた旅順要塞は陥落。日本軍は 占領したばかりの二〇三高地から、旅順港内に碇泊するロシア旅順艦隊に対し、同じく 28 センチ榴弾砲を用いて砲撃を開始。旅順艦隊は壊滅した。

この旅順での大勝利により、日露戦争の大勢は決した。そんな重要な戦闘の陰には、鉄道兵の奮闘があったのである。戦争の趨勢は、前線の歩兵や砲兵の戦いぶりだけでなく、輸送や補給を支える「裏方」とも言える兵士たちの存在によって大きく左右される。もしも旅順攻略戦において、鉄道輸送が想定通りに遂行できなかったら、歴史はどうなっていたか。映画やドラマで描かれることの少ない旅順攻略戦だが、鉄道兵の姿がほぼ登場しないのは残念なことである。

日露戦争は日本の勝利に終わった。講和条約であるポーツマス条約では、「日露両国 の部隊は、鉄道警備隊を除いて満洲から撤退する」「ロシアは東清鉄道の内、旅順～長 春間の南満洲支線と、付属地の炭鉱の租借権を日本に譲渡する」ことなどが取り決められた。

講和内容は多岐に及んだが、中でも鉄道に関する要項が多かったことは、当時の 鉄道が「国家の趨勢」を決定づける重要な要素であった一面を示している。そしてこの南満洲で得た鉄道権益が、後の満鉄（南満洲鉄道株式会社）へと繋がって いくのである。

●西山さん！



貴重な投稿ありがとうございました。日露戦争関係のネット画像をイラストとして添付しようかどうか迷いましたが、イラスト無しでもスイスイと読めるので余計なことはやめました。 編集部



感謝祭の起源とブラック・ホリデー

11月24日

孫たちに書き送った「感謝祭の起源」と

拙著「米国流通用語事典」から「ブラック・フライデー」を抜粋したものを添付します。

ブラック・フライデーに、お買い得を先取りするためにストアのドアを押し破って突入してくる人たちを「ドア・バスター」と言います。

ブラック・フライデー明けには、出勤してオフィスのパソコン端末を使ってネットでお買い得品を探す人が多いために「サイバー・マンデー」と言います。



感謝祭: Thanksgiving Day

米国の感謝祭（11 月第 4 木曜日）は、家族や親 戚、友人が集まって一緒に食事を楽しむ日本のお正月のようなものである。ということから、今年、11 月 23 日と 24 日が休日。



メイフラワー号 (Mayflower) は、ピルグリムファーズ(巡礼者と呼ばれる清教徒) 102 人と乗組員 (25~30 人) を乗せて、1620 年9月 16 日、イギリス南西部プリマスを出港したが、航海は順調ではなく、予定よりも遅れて、11 月 21 日、マサチューセッツ州プリマスのケープ・コッド (Cape Cod) に到着した。(ケープは湾、コッドはタラ、そこではタラがたくさん獲れた。)

マサチューセッツ州 ケープ・コッド しかも、目的地であった今日のニューヨーク・シティの辺りではなく、それよりも北であったため、南へ向かおうとしたが風が強くてできなかった。

すでに寒い冬になっており、周辺は雪で覆われ、上陸して小屋を建てることができず、翌年春の雪解けまで船内で過ごすことになった。持っていた食料は春まで過ごすには十分でなく、加えて、病気などで 53 名が死去した。

メイフラワー号は、ヨーロッパで主にワインを輸送する貨物船で、船内での居住は必ずしも快適なものではなかった。

メイフラワー号の大きさは、重量 180 トン、全長約 33.5m、全幅約 7.6m と推定されている。ヨーロッパに戻った2年後 1623 年、ロザーハイズで解体された。

1621 年春、先住民インディアンのワンパノアグ族から狩猟やトウモロコシ栽培などを教えて貰った。

ケープ・コッド到着から 1 年後の 11 月、収穫を与えてくれた神への感謝祭を行おうとしたとき、豊富に得られるのは、ジャガイモと捕獲しやすい野生の七面鳥とその卵であった。

感謝祭には、お世話になったワンパノアグ族を招いたが、彼らはたくさんの食物持参で出席した。

今日、感謝祭の定番メニューは、Turkey (七面鳥)、Stuffing (ターキーの詰め物)、Cranberry sauce ランベリーソース;ターキーにかけて食べるジャム状ソース)、Mashed potatoes (マッシュポテト)、Corn (とうもろこし)、Pumpkin pie (かぼちゃのケーキ) など。

プリマスで最初の感謝祭



ブラック・フライデー



以下は、拙著「米国流通用語事典」より **Black Friday 魔の金曜日**、感謝祭(Thanksgiving Day、11月の第4木曜日)翌日の金曜日。年間で最も多くの人々が買い物をする日。

この日からクリスマスに向けてホリデー・シーズン(Holiday Season)が始まり、日本の歳末大売出し開始日ともいえる日。この日あたりから来店客に「メリー・クリスマス」または「ハッピー・ホリデー」と声をかけるようになる。

この日、多くの店舗は開店時間を早め、割引販売も大々的に行われる。ウォルマートは、2003年11月28日(ブラック・フライデー)の1日だけで、15億2,000万ドルを売り上げた。

この日に米国消費者の約3分の1が買い物をするが、後の約3分の2は混雑を嫌ってこの日の買い物を避ける。

この日がブラック・フライデーと呼ばれるようになったのは、年初からこの日まで赤字(red)であった店舗もこの日から黒字(black)に転ずるとい説、この日は混雑するので買い物に適していない魔の金曜日という2つの説があるが定かではない。

この他に、小売業の売上が多いのはクリスマス・イブ(Christmas Eve)、クリスマス直前の土曜日、贈り物をするボクシング・デー(Boxing Day、12月26日)。また、1869年9月24日(金曜日)にもウォール街で大暴落があったが、これもBlack Friday(魔の金曜日)という。Good Fridayは復活祭前の金曜日。



● ○西山様 11月25日 10:53



今回の感謝祭の記事、面白かった。ありがとう。 崎元雄厚

● **英国からやってきた「若い娘たち」** 2023/11/25 14:34 (



メイフラワー号がケープコッドに到達したのは1620年11月21日であるが

英国からの最初の移住者は、これより先の1607年5月13日、男子だけで、バージニア州南東部のハンプトン・ローズに上陸し英国の最初の植民地を拓き、砦、教会、倉庫、それに一列に並んだバラックを並べた集落を

作った。耕作地を徐々に広げ、1612年に耕作を始めたタバコがロンドン市場で高値を呼び、誰もがタバコを植えるようになり今にバージニアのタバコとして知られている。乾燥させると、バージニア・ブライイトと呼ばれる黄色になる。

それでバージニアは発展するかと思われたが1619年の人口は2000人不足であった。だから人口を増やすためにというわけではないであろうが、この年、英国からやってきた船に90人の「若い娘たち」が乗っていた。彼女たちの運賃として120ポンドを支払った者に、その妻として引き渡された。

この取引は大好評で、その後も繰り返し行われた。



最近パソコンメールよりスマホのLINE(sns)トークの方が賑わっています。

八期会グループ LINE 往来(2023・11)



前にもお話しましたが、イカは右にも左にも泳ぎ、どちらが前かナゾですが、そう言えば市電も折返したら前後反対になりますネ。どっちが前なのでしょう？

下池和彦



11/25(土)

下池和彦

南郷善之助

この調子でアレすれば来年は期待できますね
みなみちゃん今年はアメリカでのコースに慣れるのに苦労していたがやっと自分のスタイルを見つけたみたいで来年が楽しみです。

下池和彦

アメリカに行って痩せこけやせんけ？好き嫌いで食もらんとかんな。

11/13(月)

既読 27
9:52

今朝の Google トピックス

南郷善之助

みなみちゃん、頑張ってくれました。来年が楽しみです。

下池和彦

独り前祝宴はなかったことにして、また来年な。楽しんじゃー。

南郷善之助

みなみちゃん今年がアメリカでのコースをシッカリ回って勉強になったので来年はきっと優勝を目指して頑張ってくれる事を期待しています。

森繁



今日は大龍校区社会福祉協議会主催のグランドゴルフ大会に左足を引きづりながら出場しました。

永野和枝

森さん グランドゴルフができて良かったです♪

西山くん

右利きは左足が弱いようですね。右足に比べて左足は遅いと思います。できるようになってからが良いのですが、左足を意識的に鍛えたほうがよろしいと思います。

左足は遅い」は「左足は細い」に訂正。

森繁

永野和枝

から芋の料理は鹿児島県の郷土料理です

本田哲郎

永野さん！ ありがとう！
ナントカ元気ですが、歩くと、息ぎれがして、辛いです。玄関から、車庫までも、電動車椅子を使うほどです。
セイゼイ！唐芋を食べて！精をつけよう
もう、アカンです。

永野和枝

足!?! 不自由!?! 大変ですねー私も、左足の肘が、痛く病院がよいです
腸けいじんたいえんです^o^
整形外科で痛み止めの注射してもらいます？痛さはとれます。又すぐ痛くなるくせものです。やっと落ち着きましたー
玄関先一駐車場30メートルまで困っていらっしやるみたい、大変ですねー
足の使いすぎかな？
お大事にしてください^o^

永野和枝

奥さんからがね作ってもらいましょう
ファイト

2 玉龍八期会 (32)



西山くん

柿を食べに目白がやってきます。我が家のベランダから撮影したままです。

永野和枝

西山さん 貴方のお宅 TOKYO のど真ん中とお聞きしています 素晴らしいところですね♪ 季節感満点 100

永野和枝

お二人で窓から眺めている御姿浮かびます♪
お幸せに

昨日

西山くん

どうして分かるのかわかりませんが、熟して食べごろの柿をついでいます。メジロが数羽来たときには雀は来ません。スズメも来るときには数羽で来ます。



下池和彦



9:52

嘉例川弁当は駅弁につき、列車外で食すると鉄道法違反、直ちに鉄道警察が来て、ブタ箱へ？

この弁当はガネと言うらしいが、写真を見るとナルホド。芋やら野菜のガネがギッシリ、ガネを食べたつもり。精進料理のつけ揚げモドキのごたらいな。鹿児島ん食モンな甘もして食わならん。

永野和枝

下池さんにお土産に5個持ってくるつもりだったがやめた!! 下池さんとブタ箱に入りたく無いし

永野和枝

下池和彦



11:08

秋たけなわ

長野県にある「かんてんパパ」という製造メーカーの駐車場とかで、北国の紅葉は冴えていますね！九州にこんなあったかな？谷山の慈眼寺は今頃どうでしょうね。

このケツタイな社名の会社、一体何を作っているのでしょうか？

永野和枝

まっかだな、真っ赤だな つたの葉っぱも 真っ赤だな 紅葉の葉っぱもまっかだな

吉野より歌声で

11/10(金)

下池和彦

吉野台地に、美しい声の詩吟が鳴り響き。

8:59

^^ 霧島連山連峰 方面にドライブ途中、空港から霧島方面に行く途中、嘉例川のがあり時々嘉例川駅でお弁当を買います

永野和枝

霧島連山連峰方面にドライブ途中、空港から霧島方面に行く途中、に嘉例川駅があります!! 花の待つ駅嘉例川べんとうが駅に売っています。美味しいです♪ オススメ^^

永野和枝

12月霧島連山連峰方面に、行きます^^ 私も買ってドライブ、します^^

永野和枝

追伸 ドライブです♪

永野和枝

80歳越すと登山は出来ません

西山<

ずいぶんと楽しそうですね。美しい景色とおいしいものを楽しめるドライブ。行く。山河越えさりゆかば寂しさの果てなむ国ぞ、今日も旅行くと歌われたのは昔の事、

下池和彦



12:00

北海道物産展で買ってきて、モノも言わずに、貪り食ったらば、この世は極楽、夢心地！

山形屋でも7日からあるとか。お暇じゃるで行きやんせ。森君、特派員レポート頼みます。

北海道物産展の売上げは鹿児島がダントツ日本で、全国の七分の一が山形屋じゃったち！こんな何いごっか？ そのワケは、

鹿児島県民は他府県に比べて味覚が非常に優れており、美味しいものは美味しい、と分かる。

または、

かねちゃおるえもんばっかい食もっているから、美味しいものに飢え渴望、飢餓状態。今日か、今日か、とチラシをよだれタラタラで待つ人生を送っている。

終戦直後の田舎では、唐芋だけは、良くあったので、おふくろの作る唐芋の天麩羅は、兄と競って、大食いたものです。今でも、あの甘いガネは、大好きです。年寄のなかには、戦後、毎日食べた唐芋は、いまでは、見るのもイヤだと宣う人かいますが、それで大人になった素であり、唐芋を貶すとは、ケシカランと思います。

永野和枝

本田さんお元気ですか？ TOKYOにたびしてからLINEに登場しなかったのだからかなとおもってました唐芋で目がさめましたね、

永野和枝

鹿児島の特産品であり大いにたべましょう。吉野のふくしかんでは唐芋をテーマの料理教室があります!! 唐芋団子。ネットタイポ そばきり? があります。私も参加します!! 楽しみにしていますか

永野和枝

私も主人が役所から帰って、私がつんぷらあげていると背広を着たままツタミグイして美味しそうにたべていたこと思い出しました♪

既読 29

17:39

隈元達雄

こういう桜島の噴火の写真も珍しい。ナイスシャッターチャンス。

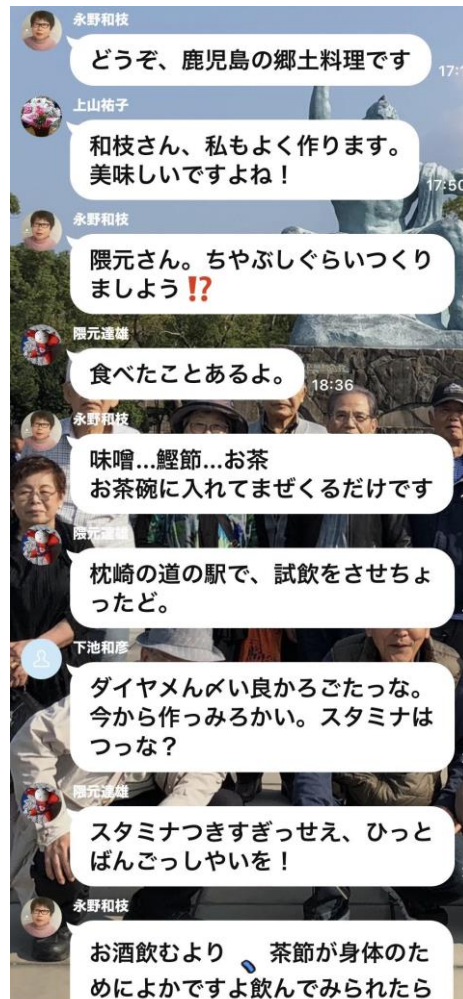
どっちに流れようかと迷っていますね!!

上山祐子

リアル桜島噴火の写真 お見事ですすね！ 市内に降灰がないように、

安倍洋子

くっきりと見える桜島立ち上がる煙空の雲とても素晴らしい写真です。ありがとうございました。久しぶりの桜島の姿です。灰が市内に来ませんように。



●LINE グループトークはパソコンメールと違い会話（軽い気持ちでジョークを交えて複数の仲間と会話するのが目的です。・・・ので、現在画面で公開する『オンライン日記』とは少し雰囲気は違いますね。編集部もどのようにワード画面に毎月のメール（トーク）を記録するか？思案中です。

スマホの画面をそのままコピー（上のように）するか？あるいは、スマホのトークをコピーしてGmailでパソコンに転送して、パソコンからワード画面に転送して構成するか？

長い文もあるけど短い文（チャット）の方がはるかに多い上に、厄介なのは、画像がふんだんに添付されていることです。むしろ、添付画像（動画もあればユーチューブ動画コピー）が主役の場合も多い。だから、パソコンメール（一歩通行）が敬遠されてきたのだと思います。

この後に、『玉龍八期会 GLINEトーク』を文章だけワード変換したのを紹介してみます。何しろ、いろいろなテーマに対するそれぞれの意見が飛び交うので個人別トークに出来ません。ちょっと試みてみましたが、とても苦労しました。

以下『八期会グループアプリ』より11月数名のコメントを中心に編集 大石コメント

善之助 LINE トークより

この調子でアレすれば来年は期待できます(ね) みなみちちゃん今年はアメリカでのコースに慣れるのに苦労していたがやっと自分のスタイルを見つけたみたいで来年が楽しみです。

下池ドン相変わらず色々な面白い動画を見つけて来ます(ね) 毎日楽しんで観てます。ドイツ生活が長かったみたいです(ね) ドイツでの変わった様子や印象等あつたら聞きたいですね？

アジアん鹿児島 アジアの 10 か国の若者が集まって毎年鹿児島で民族衣装を着飾ってダンスを披露して会場は大いに盛り上がり各国の応援が凄い熱気に包まれて元気をもらいました。今年で 16 回目だそうです。これからも続けて行く事が大事な事で国同士の友好が若者達にとって素晴らし未来永劫になることだと思ひながら観てきました。

浜崎会長の記憶力のおかげで僕等彼からのおめでとう🎉とコールで毎年誕生日を迎えています。妻等は毎年誕生日が近づくたびに浜崎会長からのラブレターが届くのを楽しみにしている様子です(ね) 会長のボケ防止対策は友人達の誕生日を覚えている事です。

さすが浜崎ドン会長さんの久しぶりのライントークが沢山の仲間たちがコメントしてくれてにぎわっている(ね) これから先も会長トークを沢山発信してもらいたいです。

下池 LINE トークの一部

11月1日 安倍さんのウイーン紀行、長文は読まないから写真だけ拝見。元気なもん！着せ替えファッションショーは現地でも話題だったのでは。もう一度ぐらいは第二か第三の故郷、欧州に遊びたいものだ。あの旨いビールにありつきたいよー。初夏の木蔭や駅の立ち飲み、最高、旨んめー！よし、決意するか。医者同伴、ファーストクラスで寝てならね。やっせんひんなったもんじゃ。

2日 あちらのビールは容量をキッチリ守ります。グラスに線が引いてあって、泡がそれより以下、つまり、中身が少しでも足りないと、お客が騒ぎ立て、秘密警察が乗り込んで店番を連行、営業免許取消し、店主収監、終身刑か？一杯のビールも命懸けよ。

3日 八期の良かガイから憤慨の声、旨かったジャパニーズウイスキー、サッパリなくなったですね。異人さんに連れられて行っちゃったー。

4日 今年は何年でしたか？ 山の際に出るらしい。恐ろしかなあ。鹿児島は清水校区が危っねどな。城ヶ谷はモロ。早よ街っの中ん老人ホームい入いやんせ。

5日 食い物んの無かクマも、ぐらしこたぐらしこっじゃっとうなあ。桜島ん灰が積もれば、鹿児島ん衆も、あすは我が身。

5日 アコーディオンお兄さん大变身。昨年までスラーっの好青年だったが、今年は違いました。肉がつき、態度がでかく、演奏が格段に上達、迫力満点！何があつたか、と訝たら、何と、彼女ができていた。ニッポン大好きの彼、やはり黒髪の東洋風、インド系ジプシーね。彼自身にもジプシー楽士の面影が残るから、血が血を呼んだか。そのお二人が目の前にやってきた。強面の彼女だが、あちら風に底なしの深情け。そんなの日本には探してもおらん。誠に羨ましい限りじゃ。お別れの握手も底なしに柔らかかったのであつた。(完)

7日 ヒグマのお母さん「この子たちに、食べ物がないのよねー。何かあればいいのに、、、イザとなったら私が死んで餌になって上げたらいいか・・・」

8日 西山アンサー

ちょっとこぐまの頭数が多いですね。熊が冬眠中に出産し、こぐまの体重は約 400 グラム位と極めて小さなものです。もらい子をしたのか、何らかの事故で親から離れたこぐまを引き取っている優しい母熊かもしれません。

下池トーク

里に出たクマは、いずれ猟友会が撃ち殺し、「駆除」される運命。短い人生哀れやなあ、子グマたち。少し足らんが、文句は云わなかった。大人の度量よなあ。

11日

クマの掌(手の平)は珍味で、中国では最高のご馳走とされ、引っ張りだこ、とか。右手と左手はどっちが美味しいか、足の裏はどうなのか、通の談義は尽きないそうで。ホタテが輸入禁止なら、クマの手を輸出禁止すべき。北朝鮮産とか云って、裏から出回るでしょうが。

永野和枝トーク集

16日 霧島連山連峰 方面にドライブ途中、空港からすぐのところに、嘉例川のがあり時々嘉例川駅でお弁当を買います🍱

17日 霧島連山連峰方面にドライブ途中、空港から霧島方面に行く途中、に嘉例川駅があります!! 花の待つ駅嘉例川べんとうが駅に売っています。美味しいです♪オススメ^o^

12月霧島連山連峰方面に、行きます^o^私も買ってドラブ、します^o^

追伸 ドライブです♪80歳越すと登山は出来ません👉

(西山トーク)

ずいぶんと楽しそうですね。美しい景色とおいしいものを楽しめるドライブ。行く。山河越えさりゆかば寂しさの果てなむ国ぞ、今日も旅行くと歌われたのは昔の事、今は楽しく食べ行くとのこと、楽しきかな!

(下池トーク)

グランプリ弁当を、10 ばっかい買っ、八期生にお裾分け。山は遠くにありて眺むが一番。登る人の気が知れん。

(森トーク)私も郷里の墓参りに行く途中よく立ち寄ります。

(下池トーク)

嘉例川弁当は駅弁につき、列車外で食すると鉄道法違反、直ちに鉄道警察が来て(警察)、ブタ箱へ? この弁当はガネと言うらしいが、写真を見るとナルホド。芋やら野菜のガネがギッシリ、ガネを食べたつもり。精進料理のつけ揚げモドキんごたらいな。鹿児島ん食モンな甘もして食わならん。

(和枝トーク) 下池さんにお土産に5個持ってくるつもりだったがやめた!! 下池さんとブタ箱に入りにたく無いし

(本田トーク)

終戦直後の田舎では、唐芋だけは、良くあったので、おふくろの作る唐芋の天麩羅は、兄と競って、大食いしたものです。今でも、あの甘いガネは、大好きです。年寄のなかには、戦後、毎日食べた唐芋は、いまでは、見るのもイヤだと言う人かいますが、それで大人になった素であり、唐芋を貶すとは、ケンカランと思います。

(和枝アンサー)

本田さんお元気ですか? TOKYOにたびしてからLINEに登場しなかったのがだれたのかなとおもっていました唐芋で目がさめましたね、鹿児島の特産品であり大いにたべましょう。吉野のふくしかんでは唐芋をテーマの料理教室があります!唐芋団子。ネツタイポ👉 そばきり?があります。私も参加します!楽しみにしていますか

私も主人が役所から帰って、私がかんぷらあげていると背広を着たままツタミグイして美味しそうにたべていたこと思い出しました♪

(本田トーク)

永野さん!ありがとうございます!ナントカ元気ですが、歩くと、息ぎれがして、辛いです。玄関から、車庫までも、電動車椅子を使うほどです。セイゼイ!唐芋を食べて!精をつけます もう、アカンです。

(永野アンサー)

足! 不自由! 大変ですねー 私も、左足の肘が、痛く病院がよいです 腸けいじんたいえん です^o^ 整形外科で痛み止めの注射してもらいます? 痛さはとれます。又すぐ痛くなるくせものです。やっとなり着きましたー 玄関先一駐車場30メートルまで困っていらっしやるみたい、大変ですねー(大変) 足の使いすぎかな? お大事にしてください^o^

濱崎トークに対するコメント集

今日は Mr.八期会、大石君の誕生日。永遠の青年を祝して乾杯(^-^)/人(^-^)!これまで色々とお難うございました。これからも、どうぞ末長く、よろしく願います。ハッピーバースデーケーキ♥

西山トークそうですね、この年まで色々とお活躍本当にありがとうございます。いつまでもお元気でよろしく願います。

森トークじゃった！私よりちょうど一月早生まれちょいやった。84歳おめでとうでございます。益々のご活躍を祈ります。下池トークもう少し古者と認識しておりましたが、同じ年代でしたか！ご長寿、誠に目出度うございます。いつまでもいつまでも長生きよろしく願います。120歳ぐらまでは行けるそうなので。飽いたら中断もよし。紙の八期通信は既に偉大な世界遺産、八期LINEは更に宇宙遺産！大石新聞、鹿児島が胸を張って誇る文化遺産です。歴史に残る大偉業。誰にも出来ない。形で表す顕彰の何か、会長さん肝入って企画、宜しく願ひ致します。森君は長田神社でテンテコ舞い最中につき。

安倍トーク大石さん84才の仲間入り、おめでとう御座います。私の、方が、2カ月程お姉さまですが、やっていることは、20才も、30才も、妹です。どうぞこれからも、末長く元気で宜しく願ひしますね。

本田トーク大石さん、お誕生日、オメデトウでございます。貴兄の毎月の八期通信など、欠かさずに編集、制作されておられるご努力は、下池どんが指摘されているように、表彰モノであり、玉龍高校八期同窓会の誉です。我々もホームページは持っているものも、勝手に少数の者が書き込んでいるだけのヤツで、大石さんが、おひとりで、毎月、みなさんのご意見を定期的に、まとめられておられるなんて、素晴らしい事です。いつもスマホなどで、ご指導頂いていますが、貴兄のスマホ、パソコンの駆使されるスキルの高さに驚いています。歳は、お互い中盤にぎましたが、玉龍の宝物を、是非、続行されますように、願ひします。

隈元トーク大石くん遅くなりましたが、一足先の誕生日おめでとう。これからもよろしく頼みます。

(南郷トーク)濱崎会長の記憶力のおかげで僕等彼からのおめでとうとコールで毎年誕生日を迎えています。妻等は毎年誕生日が近づくたびに濱崎会長からのラブレターが届くのを楽しみにしている様子です(笑)会長のポケ防止対策は友人達の誕生日を覚えている事です。

さすが濱崎ドン会長さんの久しぶりのライントークが沢山の仲間たちがコメントしてくれてにぎわっている(ね)これから先も会長トークを沢山発信してもらいたいです。

(下池トーク)再び、クマの話で恐縮ですが、今の日本人はクマやイノシシからバカにされているが、昔は反対だったみたい。マサカリ担いで何しに行くのでしょうか？(まさか)

【編集後記】

宿題だった『奥羽スケッチ10』ラストバージョン完成しました。二つに分けようか迷いましたがラスト東京編はプライベート過ぎるし歴史に関係もないのでやめました。まずは完成です。西山さんから送ってもらった2冊の猿来隊レポートはためになります。何度も読み返して書く時の参考にしています。仕上げの動画説明に保科正之のくだりを読んで少し引用しました。会津の武家屋敷に資料館があって保科正之コーナーをもっとじっくりみてきたら良かったと反省しています。

会津では後半少し目眩がして体力の衰えを感じることでした。あと1箇所『薬庭園』とかに行ってみただけで続きませんでした。知っていますか？西山さんが自由に旅が出来たらもっと関東からの旅が充実することでしょうが世の中上手くいきません。又来年春過ぎ(秋は用事が多すぎます)出かけたいと思います。隈元くんが体力を取り戻したら彼とペアで小さくも大きくもないほどほど旅をもくろんでいます。辰年位までは気力は衰えないと思います。ほんとはあと一回、中国に宿題が残っています。チャンスがあれば...

西山アンサー

今、ベッドであなたからのメールを見えています。YouTube にアップしたものは後ほどパソコンで見たいと思います。ちょうど今から 10 年前、日本から米国へ、和牛輸出のはじめてのミッションのお手伝いで、ニューヨークに行ったのを最後に日帰り以外のお出かけをしておりません。家内が元気なときにはスキーにも行ったのですが... あなたが中国を広範にわたって駆け巡り、今では東北を隅々まで訪れている様子を見ていいなと思っております。さて、来年、春先に隈元さんと上京の機会があればいいなと思います。今回は皇居を案内できたらと思います。二重橋の上に立つこともできます。前回訪問できなかった浜離宮、江戸会場、西郷さんと勝海舟会場の場など...、いずれにしてもあなたと隈元さんが健康を持続して旅行できることを祈っています。中国旅行を実現できるといいですね。何事も諦めず、焦ることもなく、実現できる日が来ればいいなと思っております。9日西山

最後にもう一つ今月号に添付します。

月末、鹿児島島の偉大な歴史家の三木 靖氏が亡くなりました。

南九州の城郭研究の第一人者であり、戦国島津氏について学術研究で多くの影響を与えました。

又、鹿児島鶴丸城の御楼門復元にも尽くされました。

本田哲郎氏からも氏を悼むメール届いています。

....

三木先生のご逝去を悼み心からお悔やみ申し上げます。三木先生には、帰郷後、22年前、鹿児島国際大学の生涯学習講座で2年間、一般学生との同じ鹿児島県の歴史を習いました。

その後、三木先生には地元、吹上町の、永吉南郷城の探索などで、何度もおいで頂き、それこそ、巻尺まで、持参されて、山城の土塁なども明らかにしてくれました。

更に、永吉天昌寺まつりの時なども、基調講演なども、快くやって頂きました。

まさに、自分にとっては、郷土史の手ほどきを受けた恩人であり、今回の、急な訃報には、信じられない心境です。先生は、いままでも、平気で、山城に登られるほどの健脚ぶりでした。この度は、肺炎とのことです。お互いに老境です。

まずは、寒さ対策、風邪を引かぬこと、充分注意しましょう。

先生の安らかなご浄土を心からお祈り申し上げます。合掌。

三木靖さん死去

86歳 南九州の城郭研究



南九州の城郭研究の第一人者で鹿児島国際大学名誉教授の三木靖（みき・やすし）さんが17日午後3時43分、肺炎のため、東京都内の病院で死去した。86歳。東京都出身。自宅は東京都八王子市。葬儀・告別式は24日、家族葬で行った。



27日午前1時、鹿児島市の病院で脳幹出血のため死去。79歳。南大隅町（旧根占町）出身。自宅は鹿屋市古里町1165。葬儀・告別式は28日午前11時半から南大隅町根占川南3637の総合葬祭メイト根占会館で仏式。喪主は妻順子（じゆんこ）さん。

宮崎大学文学部を卒業し、鹿児島県内の高校で美術教諭を務めた。南日本美術展では1986年の第1回展でパリ賞を受賞し、1年間留学した。記念委員会。風景や人物のほか東日本大震災をテーマに作品を制作。今年4月には故郷の南大隅町の美家にギャラリーを開設し、地元文化発展にも貢献した。

南日美展、ハリ賞受賞

向吉 文男氏（むこよし）
・ふみお
画家、南日本美術展第6回ハリ賞受賞者

南九州の城郭研究の第一人者で鹿児島国際大学名誉教授の三木靖（みき・やすし）さんが17日午後3時43分、肺炎のため、東京都内の病院で死去した。86歳。東京都出身。自宅は東京都八王子市。葬儀・告別式は24日、家族葬で行った。

1937年、東京都豊島区出身。早稲田大学大学院修了。鹿児島短大（後の鹿児島国際短期大学部）の創設に参加し、同短大学長など歴任した。専門は日本中世史、城郭史。72年に「薩摩島津氏」を出版し、戦国島津氏について史料に基づく学術的な研究の先鞭（せんべん）をつけた。中世山城や城館にも研究分野を広げ、清色城（薩摩川内市）、鹿児島城（鹿児島市）などの再評価に尽力。国の史跡指定につなげた。また、奄美群島を含めた県内各地に残る山城跡の踏査を通じ、実像に迫った。鹿児島城の御楼門復元にも、専門家委員長として関わった。2012年まで県文化財

